

【改訂前】

【改訂後】

土木工事施工管理の手引

土木工事施工管理の手引

令和2年4月

令和3年4月

大分県土木建築部
大分県農林水産部

大分県土木建築部
大分県農林水産部

【1】 施工計画書作成の手引

【1】 施工計画書作成の手引

1. 施工計画の目的

施工計画作成の目的は、設計図書・仕様書等に定められた工事目的物を完成するために必要な手順や工法及び施工中の管理をどうするか等を定めたものであり、工事の施工・施工管理の最も基本となるものである。

土木工事共通仕様書第1編1-1-4.1一般事項に、「受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するための必要な手順や工法などについての施工計画書を、監督員に提出しなければならない。」と規定している。

また、施工計画書には、下記の事項について記載するように規定されている。

- (1) 工 事 概 要
- (2) 計 画 工 程 表
- (3) 現 場 組 織 表
- (4) 指 定 機 械
- (5) 主 要 船 舶・機 械
- (6) 主 要 資 材
- (7) 施 工 方 法 (主要機材、仮設備計画、工事用地等を含む)
- (8) 施 工 管 理 計 画
- (9) 安 全 管 理
- (10) 緊 急 時 の 体 制 及 び 対 応
- (11) 交 通 管 理
- (12) 環 境 対 策
- (13) 現 場 作 業 環 境 の 整 備
- (14) 再 生 資 源 の 利 用 の 促 進 と 建 設 副 産 物 の 適 正 処 理 方 法
- (15) そ の 他

さらに、「監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。

但し、受注者は維持工事等簡易な工事においては、監督員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。」となっている。

この他、2. 変更施工計画書には「受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を監督員に提出しなければならない。」また、3. 詳細施工計画書には「監督員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。」と規定されている。

また、工期や数量だけの軽微な変更等で施工計画に大きく影響しない場合は、変更施工計画書の提出は不要である。但し、繰越工事等の場合で、工期設定や施工時期等が大きく変わる場合には、施工方法・工程管理の変更や、安全教育・訓練の追加等が必要となることから、変更施工計画書を提出すること。

但し書きの「維持工事等簡易な工事」とは、小規模な工事（設計額500万円未満の工事）とする。

なお、~~「維持工事等簡易な工事」~~における施工計画の記載内容は(1)(2)(3)(6)(9)(10)(11)(14)の8項目とし、監督員の承諾を得ること。

1. 施工計画の目的

施工計画作成の目的は、設計図書・仕様書等に定められた工事目的物を完成するために必要な手順や工法及び施工中の管理をどうするか等を定めたものであり、工事の施工・施工管理の最も基本となるものである。

土木工事共通仕様書第1編1-1-4.1一般事項に、「受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するための必要な手順や工法などについての施工計画書を、監督員に提出しなければならない。」と規定している。

また、施工計画書には、下記の事項について記載するように規定されている。

- (1) 工 事 概 要
- (2) 計 画 工 程 表
- (3) 現 場 組 織 表
- (4) 指 定 機 械
- (5) 主 要 船 舶・機 械
- (6) 主 要 資 材
- (7) 施 工 方 法 (主要機材、仮設備計画、工事用地等を含む)
- (8) 施 工 管 理 計 画
- (9) 安 全 管 理
- (10) 緊 急 時 の 体 制 及 び 対 応
- (11) 交 通 管 理
- (12) 環 境 対 策
- (13) 現 場 作 業 環 境 の 整 備
- (14) 再 生 資 源 の 利 用 の 促 進 と 建 設 副 産 物 の 適 正 処 理 方 法
- (15) そ の 他

さらに、「監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。

但し、受注者は維持工事等簡易な工事及び災害応急工事においては、監督員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。」となっている。

この他、2. 変更施工計画書には「受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を監督員に提出しなければならない。」また、3. 詳細施工計画書には「監督員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。」と規定されている。

また、工期や数量だけの軽微な変更等で施工計画に大きく影響しない場合は、変更施工計画書の提出は不要である。但し、繰越工事等の場合で、工期設定や施工時期等が大きく変わる場合には、施工方法・工程管理の変更や、安全教育・訓練の追加等が必要となることから、変更施工計画書を提出すること。

但し書きの「維持工事等簡易な工事」とは、小規模な工事（設計額500万円未満の工事）とし、「災害応急工事」とは、公共土木施設災害復旧事業に関する工事（工事名に「応」が含まれる工事）及び災害等で緊急的な対応が必要となり緊急発注扱いや随意契約で契約をした工事とする。

なお、これらの工事における施工計画の記載内容は(1)(2)(3)(6)(9)(10)(11)(14)の8項目とし、監督員の承諾を得ること。

【改訂前】

当初施工計画書チェックリスト

番号	確認事項	確認欄		備考
		受注者	発注者	
1	施工計画に先立ち、設計図書の写真、合同現地踏査、地下埋設物・架空線等調査を行い、その結果を書面で提出しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	現地着工前に提出されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	必要事項が記載されているか (1)工事概要、(2)計画工程表、(3)現場組織表、(4)指定機械、(5)主要船舶・機械、(6)主要資材、(7)施工方法、(8)施工管理計画、(9)安全管理、(10)緊急時の体制及び対応、(11)交通管理、(12)環境対策、(13)現場作業環境の整備、(14)再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法、(15)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※設計額500万円未満の工事は(4)(5)(7)(8)(12)(13)(15)を省略可能
4	週休2日実施工事が((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、計画工程表が週休2日を考慮したものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4週●休 / 実施の場合記載
5	品質管理計画について、 ・ 必要な工種が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	出来形管理計画について、 ・ 必要な工種、項目が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	写真管理計画について、 ・ 必要な工種、項目が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	段階確認の内容、予定時期、立会の連絡方法等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	社内検査を行う場合、組織表、社内規格値、社内管理基準(検査項目、検査方法、検査計画、検査要領)が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10	安全管理、交通管理計画について、当該現場にて特に留意する事項等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	夏場に施工がある場合、熱中症対策の具体的な方法が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	緊急時の連絡体制について、休日・祝日の連絡体制も含め、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13	環境対策について、騒音振動やほこり対策、事業損失対策等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14	現場環境改善の実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、具体的な実施内容が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15	再生資源利用計画書、利用促進計画書が入力され、添付されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16	情報共有システム活用実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、「工事書類一覧表」にて対象書類を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○○システム / 実施の場合、使用システムを記載
17	電子納品実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、「工事書類一覧表」にて対象書類を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○○システム / 実施の場合、使用システムを記載
18	総合評価における履行義務のある技術提案等について、特記仕様書に記載の施工計画、履行確認、検査方法、技能者の活用計画等が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19	「工事書類簡素化の手引き」の内容について、監督員と確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20	その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【改訂後】

当初施工計画書チェックリスト

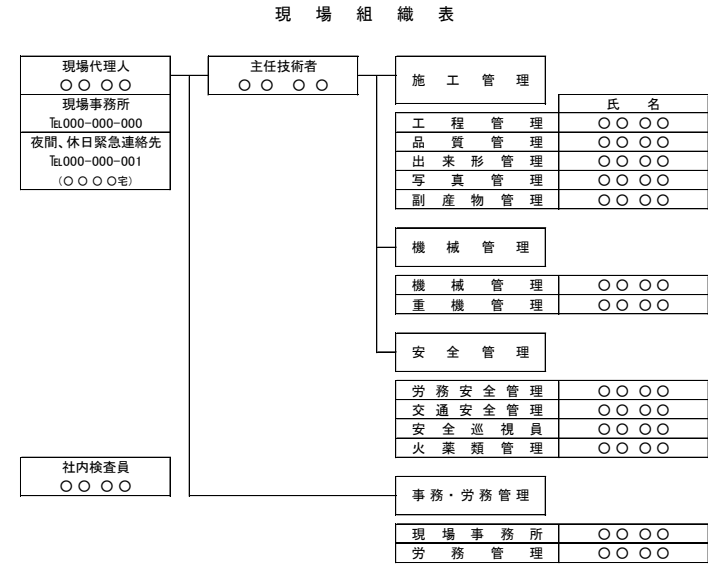
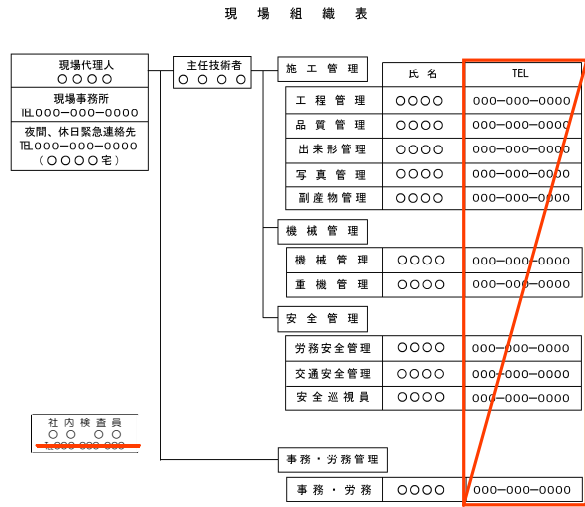
番号	確認事項	確認欄		備考
		受注者	発注者	
1	施工計画に先立ち、設計図書の写真、合同現地踏査、地下埋設物・架空線等調査を行い、その結果を書面で提出しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	現地着工前に提出されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	必要事項が記載されているか (1)工事概要、(2)計画工程表、(3)現場組織表、(4)指定機械、(5)主要船舶・機械、(6)主要資材、(7)施工方法、(8)施工管理計画、(9)安全管理、(10)緊急時の体制及び対応、(11)交通管理、(12)環境対策、(13)現場作業環境の整備、(14)再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法、(15)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※設計額500万円未満の工事及び災害補修工事は(4)(5)(7)(8)(12)(13)(15)を省略可能
4	週休2日実施工事が((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、計画工程表が週休2日を考慮したものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4週●休 / 実施の場合記載
5	品質管理計画について、 ・ 必要な工種が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	出来形管理計画について、 ・ 必要な工種、項目が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7	写真管理計画について、 ・ 必要な工種、項目が記載されているか ・ 基準で定められた頻度となっているか、あるいは監督員と協議により頻度を定めたか ・ 基準にないものについて、監督員と協議により定めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※原則、基準で定められた頻度
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8	段階確認の内容、予定時期、立会の連絡方法等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9	社内検査を行う場合、組織表、社内規格値、社内管理基準(検査項目、検査方法、検査計画、検査要領)が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10	安全管理、交通管理計画について、当該現場にて特に留意する事項等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11	夏場に施工がある場合、熱中症対策の具体的な方法が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	緊急時の連絡体制について、休日・祝日の連絡体制も含め、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13	環境対策について、騒音振動やほこり対策、事業損失対策等について、監督員の確認を受けたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14	現場環境改善の実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、具体的な実施内容が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15	再生資源利用計画書、利用促進計画書が入力され、添付されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16	情報共有システム活用実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、「工事書類一覧表」にて対象書類を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○○システム / 実施の場合、使用システムを記載
17	電子納品実施工事か((<u>実施</u>)/ 実施しない) 実施工事の場合、「工事書類一覧表」にて対象書類を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○○システム / 実施の場合、使用システムを記載
18	総合評価における履行義務のある技術提案等について、特記仕様書に記載の施工計画、履行確認、検査方法、技能者の活用計画等が記載されているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19	「工事書類簡素化の手引き」の内容について、監督員と確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20	その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【改訂前】

【改訂後】

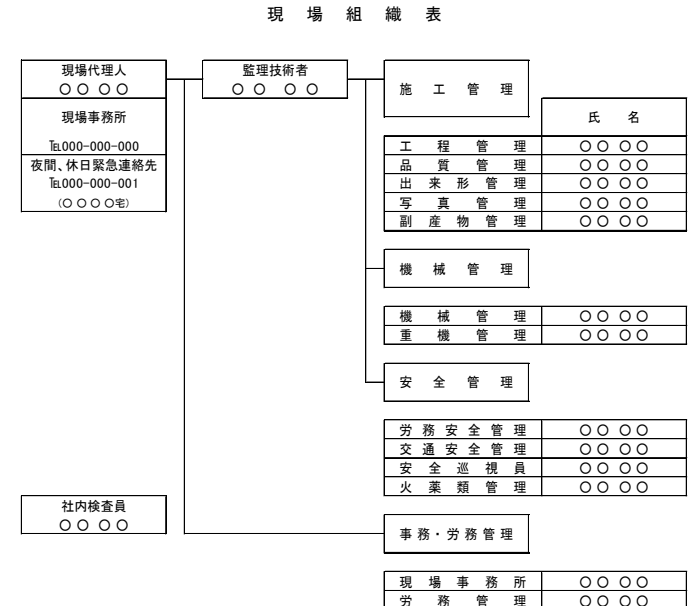
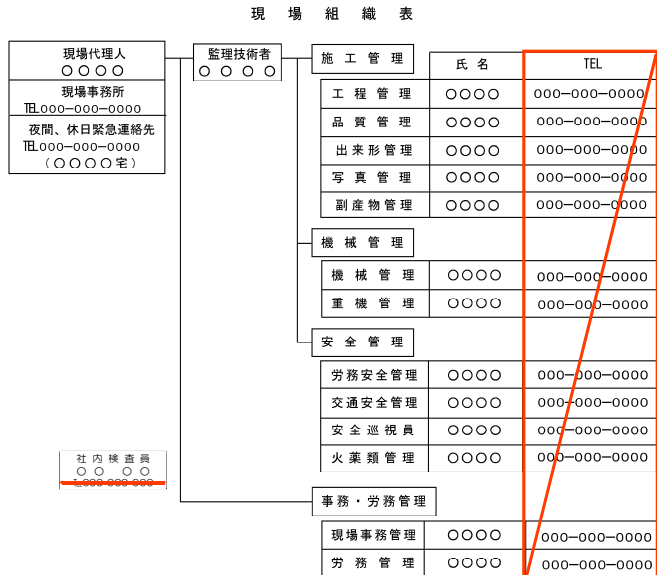
記載例：専任の主任技術者】

記載例：専任の主任技術者】



【記載例：専任の監理技術者】

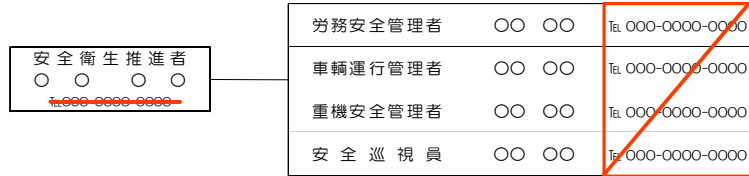
【記載例：専任の監理技術者】



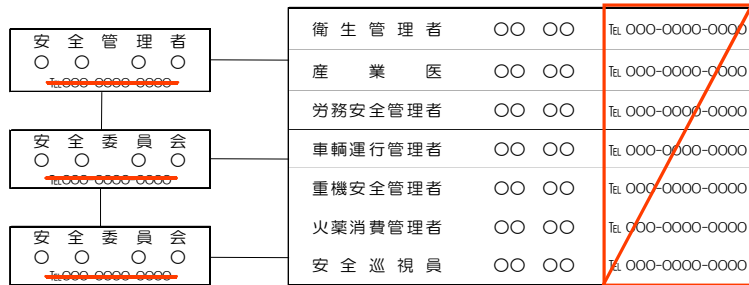
【改訂前】

【記載例：安全管理組織表】

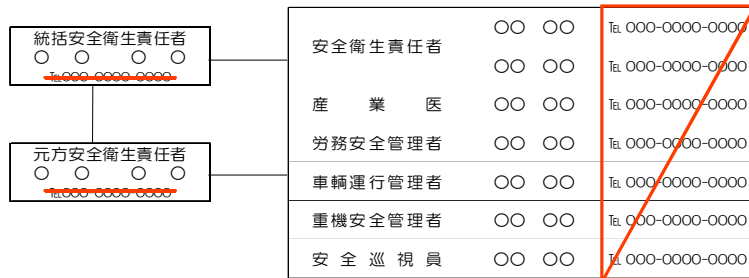
- 一般組織 労働者10人以上50人未満の場合



- 一般組織 労働者50人以上100人未満の場合



- 下請混在組織（一般工事） 労働者数50人以上100人未満の場合
- 下請混在組織（特定工事） 労働者数30人以上の場合



※特定工事・・・すい道等の建設の仕事・圧気工法による作業を行う仕事・人口が集中している地域内の道路若しくは道路に隣接した場所や鉄道の軌道上、軌道に隣接した橋梁の建設の仕事

この様式で記載された個人情報 は施工管理資料としてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

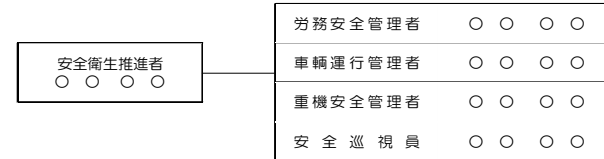
【記載例：作業主任者一覧表】

作業内容	作業主任者名	作業主任者の有する資格	交付番号 取得年月日
掘削面の高さ2m以上の地山の掘削作業	地山の掘削作業主任者 氏名 ○ ○ ○ ○	技能講習修了者	

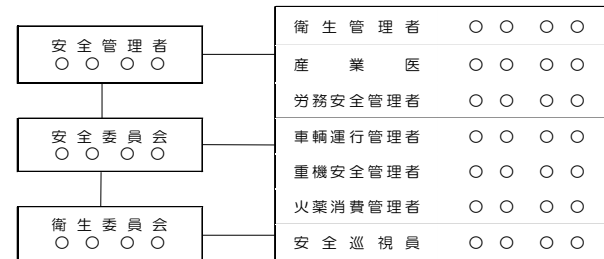
【改訂後】

【記載例：安全管理組織表】

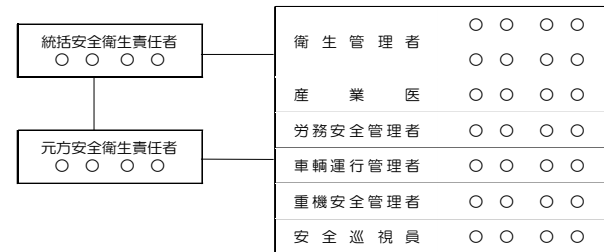
- 一般組織 労働者10人以上50人未満の場合



- 一般組織 労働者50人以上100人未満の場合



- 下請混在組織（特定工事） 労働者数30人以上の場合



この様式で記載された個人情報 は施工管理資料としてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

【記載例：作業主任者一覧表】

作業内容	作業主任者名	作業主任者の有する資格	交付番号 取得年月日
掘削面の高さ2m以上の地山の掘削作業	地山の掘削作業主任者 氏名 ○ ○ ○ ○	技能講習修了者	

【改訂前】

[2] 工事に係る提出資料

一般的な工事の提出資料は下記のとおりである。

工事書類一覧表

作成時期	番号	工事書類の種類		位置付け		提出/提示方法 チェック欄				備考	
		書類名称	書類作成の根拠	※ 様式	提出	提示	紙		電子		
							紙	電子	ASP		ASP 以外
工事着手前	1	指示・承諾・協議書 ＜合同現地調査結果＞	特記仕様書	立	○				✓		
	2	指示・承諾・協議書 ＜設計図書の見直し結果＞	共1-1-1-3	立	○				✓		
	3	指示・承諾・協議書 ＜地下埋設物、架空線等調査結果＞	共1-1-1-26	-	○				✓		
	4	指示・承諾・協議書 ＜施工計画書＞	共1-1-1-4	立	○		✓				詳細計画書は、監督員の指示があった場合 変更計画書は、重要な変更が生じた場合
	5	指示・承諾・協議書 ＜着工前測量結果＞	共1-1-1-37	-	○				✓		
	6	指示・承諾・協議書 ＜施工体制台帳（施工体系図含む）の写し＞	共1-1-1-10	立	○			✓			下請契約後速やかに 内容に変更が生じた場合はその都度
	7	指示・承諾・協議書 ＜各種許可証（道路使用許可等）の写し＞	共1-1-1-35	-	○				✓		許可後速やかに
	8	指示・承諾・協議書 ＜材料承諾＞	共2-1-2-4	-	○				✓		使用するまでに
施工中	9	指示・承諾・協議書 ＜承諾、協議、提出、報告、通知＞	共1-1-1-2	立	○		✓	✓			工事完成時に一覧表を添付
	10	工事履行報告書（状況写真含む）	共1-1-1-24	立	○			✓			毎月（翌月の5日まで）
	11	活動報告書 ＜災害防止協議会、工事関係者連絡会議＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	12	活動報告書 ＜安全教育、訓練等＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	13	活動報告書 ＜新規入場者教育＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	14	指示・承諾・協議書 ＜段階確認立会結果＞	共3-1-1-5	-	○			✓			確認立会後速やかに 工事完成時に一覧表を添付
	15	その他資料 ＜現場環境改善実施状況＞	特記仕様書	立	○				✓		実施の都度
	16	出来形数量等 ＜完成図面、出来形数量総括表、計算書＞	共1-1-1-19	-	○				✓		設計変更等、必要に応じて提出
工事完成時	17	工程管理資料 ＜実施工程表＞	-	-	○				✓		
	18	品質管理資料 ＜総括表、品質管理資料、材料品質証明書＞	共1-1-1-23	-	○		✓		✓		
	19	出来形管理資料 ＜総括表、出来形管理展開図、出来形管理図＞	共1-1-1-23	-	○		✓		✓		
	20	写真管理資料	共1-1-1-23	-	○				✓		
	21	その他資料 ＜過積載防止取組み＞	-	立	○				✓		
	22	その他資料 ＜地下埋設物、架空線等事故防止対策取組み＞	-	立	○				✓		
	23	その他資料 ＜建造共受け払い簿の写し＞	H1.3.8H建設省 確認済書第04号	-	○				✓		
	24	その他資料 ＜OBRIS工事登録証明書＞	共1-1-1-18	-	○				✓		
	25	その他資料 ＜創意工夫、地域への貢献等＞	共3-1-1-11	立	○				✓		
	26	その他資料 ＜総合評価履行報告書（技術提案、技能者活用）＞	特記仕様書	立	○				✓		
27											
28											
29											
30											

【改訂後】

[2] 工事に係る提出資料

一般的な工事の提出資料は下記のとおりである。

工事書類一覧表

作成時期	番号	工事書類の種類		位置付け		提出/提示方法 チェック欄				備考	
		書類名称	書類作成の根拠	※ 様式	提出	提示	紙		電子		
							紙	電子	ASP		ASP 以外
工事着手前	1	指示・承諾・協議書 ＜合同現地調査結果＞	特記仕様書	立	○				✓		
	2	指示・承諾・協議書 ＜設計図書の見直し結果＞	共1-1-1-3	立	○				✓		
	3	指示・承諾・協議書 ＜地下埋設物、架空線等調査結果＞	共1-1-1-26	-	○				✓		
	4	指示・承諾・協議書 ＜施工計画書＞	共1-1-1-4	立	○		✓				詳細計画書は、監督員の指示があった場合 変更計画書は、重要な変更が生じた場合
	5	指示・承諾・協議書 ＜着工前測量結果＞	共1-1-1-37	-	○				✓		
	6	指示・承諾・協議書 ＜施工体制台帳（施工体系図含む）の写し＞	共1-1-1-10	立	○			✓			下請契約後速やかに 内容に変更が生じた場合はその都度
	7	指示・承諾・協議書 ＜各種許可証（道路使用許可等）の写し＞	共1-1-1-35	-	○				✓		許可後速やかに
	8	指示・承諾・協議書 ＜材料承諾＞	共2-1-2-4	-	○				✓		使用するまでに
施工中	9	指示・承諾・協議書 ＜承諾、協議、提出、報告、通知＞	共1-1-1-2	立	○		✓	✓			工事完成時に一覧表を添付
	10	工事履行報告書（状況写真含む）	共1-1-1-24	立	○			✓			毎月（翌月の5日まで）
	11	活動報告書 ＜災害防止協議会、工事関係者連絡会議＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	12	活動報告書 ＜安全教育、訓練等＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	13	活動報告書 ＜新規入場者教育＞	共1-1-1-26	立	○				✓		毎月（翌月の5日まで）
	14	指示・承諾・協議書 ＜段階確認立会結果＞	共3-1-1-5	-	○			✓			確認立会後速やかに 工事完成時に一覧表を添付
	15	その他資料 ＜現場環境改善実施状況＞	特記仕様書	立	○				✓		実施の都度
	16	出来形数量等 ＜完成図面、出来形数量総括表、計算書＞	共1-1-1-19 土共3-1-1-6	-	○				✓		設計変更等、必要に応じて提出
工事完成時	17	工程管理資料 ＜実施工程表＞	-	-	○				✓		
	18	品質管理資料 ＜総括表、品質管理資料、材料品質証明書＞	共1-1-1-23	-	○		✓		✓		
	19	出来形管理資料 ＜総括表、出来形管理展開図、出来形管理図＞	共1-1-1-23	-	○		✓		✓		
	20	写真管理資料	共1-1-1-23	-	○				✓		
	21	その他資料 ＜過積載防止取組み＞	-	立	○				✓		
	22	その他資料 ＜地下埋設物、架空線等事故防止対策取組み＞	-	立	○				✓		
	23	その他資料 ＜建造共受け払い簿の写し＞	H1.3.8H建設省 確認済書第04号	-	○				✓		
	24	その他資料 ＜OBRIS工事登録証明書＞	共1-1-1-18	-	○				✓		
	25	その他資料 ＜創意工夫、地域への貢献等＞	共3-1-1-11	立	○				✓		
	26	その他資料 ＜総合評価履行報告書（技術提案、技能者活用）＞	特記仕様書	立	○				✓		
27											
28											
29											
30											

【設計図利用出来形管理図】

- ・平面、断面、側面等複雑な構造の工種の管理に適している。
- ・代表的な工種としては、橋梁上下部工、函渠工、樋門、水門等の構造物である。

【出来形管理図表】

- ・標準断面図及び設計値、実測値等を一覧表にして示した管理図表である。
- ・特殊な工種を除き当管理図で管理される。

(4) 管理図表作成要領

1) 出来形管理展開図

- ① 縦、横の縮尺を適宜選定して設計値により作図する。
- ② 測点番号を記入する。
- ③ 設計値及び、設計値に対応する実測値及び差を朱書きで記入する。
- ④ 断面構造があるものについては、標準断面図を記入する。
- ⑤ 展開図上段付近に、それぞれの測定項目に対する規格値を記入する。

2) 設計図利用出来形管理図

- ① 設計図面を利用し（縮小、転記を含む）して実測値及び差を朱書で記入する。
- ② それぞれの測定項目に対する規格値を記入する。

3) 出来形管理図表

- ① 標準断面図を記入する。
- ② 規格値を記入する。
- ③ 測点、設計値、実測値、差の一覧表を作成して、それぞれの値を記入する。

【設計図利用出来形管理図】

- ・平面、断面、側面等複雑な構造の工種の管理に適している。
- ・代表的な工種としては、橋梁上下部工、函渠工、樋門、水門等の構造物である。

【出来形管理図表】

- ・標準断面図及び設計値、実測値等を一覧表にして示した管理図表である。
- ・特殊な工種を除き当管理図で管理される。

(4) 管理図表作成要領

1) 出来形管理展開図

- ① 縦、横の縮尺を適宜選定して設計値により作図する。
- ② 測点番号を記入する。
- ③ 設計値及び、設計値に対応する実測値及び差を朱書きで記入する。
ただし、出来形管理図表で確認できるものについては、設計値と実測値の差の記入を省略できる。
- ④ 断面構造があるものについては、標準断面図を記入する。
- ⑤ 展開図上段付近に、それぞれの測定項目に対する規格値を記入する。

2) 設計図利用出来形管理図

- ① 設計図面を利用し（縮小、転記を含む）して実測値及び差を朱書で記入する。
ただし、出来形管理図表で確認できるものについては、設計値と実測値の差の記入を省略できる。
- ② それぞれの測定項目に対する規格値を記入する。

3) 出来形管理図表

- ① 標準断面図を記入する。
- ② 規格値を記入する。
- ③ 測点、設計値、実測値、差の一覧表を作成して、それぞれの値を記入する。
- ④ 出来形管理の測定点が8点未満の場合は、能力図の作成を省略できる。
- ⑤ 作業土工については、出来形管理図表の作成を省略できる。

工 工程能力図付表 (出稼形測定表)

測定者

測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所					
月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	測定箇所
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.

工 工程能力図付表 (出稼形測定表)

測定者

測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所		測定箇所					
月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	月日	測定又は区別	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	測定箇所
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.
.

【改訂前】

様式-3

工 工程能力図

測定者 _____

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

- 注 ① 標題は測溝工基準高工程能力図、路盤工厚工程能力図等記入する。 ③ 月日欄は、当該測点を実測した月日を記入する。
- ② 番号は、あらかじめ測点を定め、起点から終点に向った順序で記入する。 ④ 目盛は適宜定め数値を記入する。
- ⑤ 図表に許容範囲の線を朱書で記入する。

【改訂後】

様式-3

工 工程能力図

測定者 _____

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

測点番号 又は区別										
月 日										
+	[Grid Area]									
0										
-										

- 注 ① 標題は測溝工基準高工程能力図、路盤工厚工程能力図等記入する。 ③ 月日欄は、当該測点を実測した月日を記入する。
- ② 番号は、あらかじめ測点を定め、起点から終点に向った順序で記入する。 ④ 目盛は適宜定め数値を記入する。
- ⑤ 図表に許容範囲の線を朱書で記入する。

【改訂前】

様式-4

工事名 _____

成果総括表

受注者 _____

測定者 _____

月 日	番 号	測 定 値			計 Σ	平均値 \bar{x}	移動範囲 R s	摘 要
		x_1	x_2	x_3				
許容範囲		max=	min=	$\bar{x} =$	$\bar{R}s =$			
記 事								

【改訂後】

様式-4

工事名 _____

成果総括表

受注者 _____

測定者 _____

月 日	番 号	測 定 値			計 Σ	平均値 \bar{x}	移動範囲 R s	摘 要
		x_1	x_2	x_3				
許容範囲		max=	min=	$\bar{x} =$	$\bar{R}s =$			
記 事								

管理特性 延長

測定者

種 別	中 心 線		橋 脚 別		橋 岸 工		種 別		橋 岸 工		種 別		U 字 水 路		種 別	
	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値
測 定 点 又 は 区 分	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値との差
Ns. 0	20.00	20.02	1.02													
Ns. 1	"	19.97	-0.03													
Ns. 3	3.48	3.48	±0													
B C	16.52	(16.513)	(-0.017)													
Ns. 4	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 5	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 6	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 7	20.00	(19.998)	(-0.002)													
計	〇〇 m	〇〇 m		計	〇〇 m	〇〇 m										

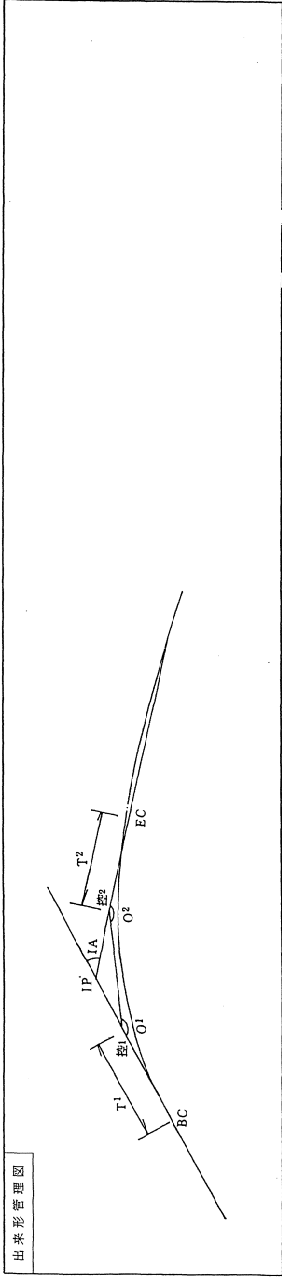
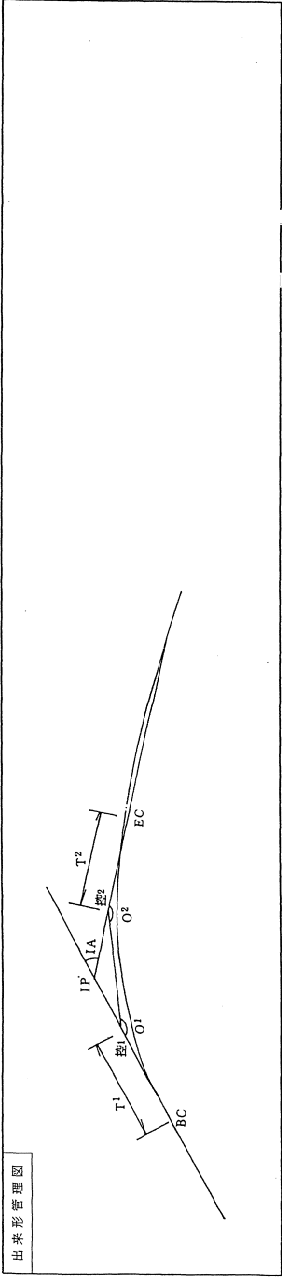
備考 1) 延長を管理するすべてについて使用する。
2) 総積欠配が大きい時又中線部は総長あるいは弦長、弧長等を () 費で表わす。

管理特性 延長

測定者

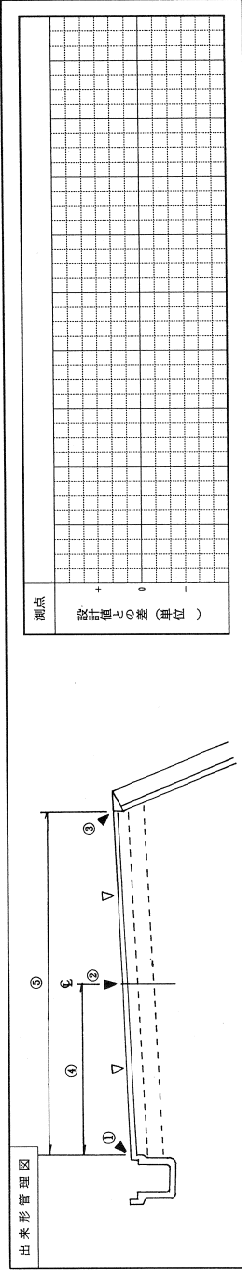
種 別	中 心 線		橋 脚 別		橋 岸 工		種 別		橋 岸 工		種 別		U 字 水 路		種 別	
	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値	規 格 値	測 定 値
測 定 点 又 は 区 分	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値との差	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値との差
Ns. 0	20.00	20.02	1.02													
Ns. 1	"	19.97	-0.03													
Ns. 3	3.48	3.48	±0													
B C	16.52	(16.513)	(+0.017)													
Ns. 4	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 5	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 6	20.00	(19.998)	(-0.002)													
Ns. 7	20.00	(19.998)	(-0.002)													
計	〇〇 m	〇〇 m		計	〇〇 m	〇〇 m										

備考 1) 延長を管理するすべてについて使用する。
2) 総積欠配が大きい時又中線部は総長あるいは弦長、弧長等を () 費で表わす。



管理種別
表層工
管理特性
基準高、幅員

測定者

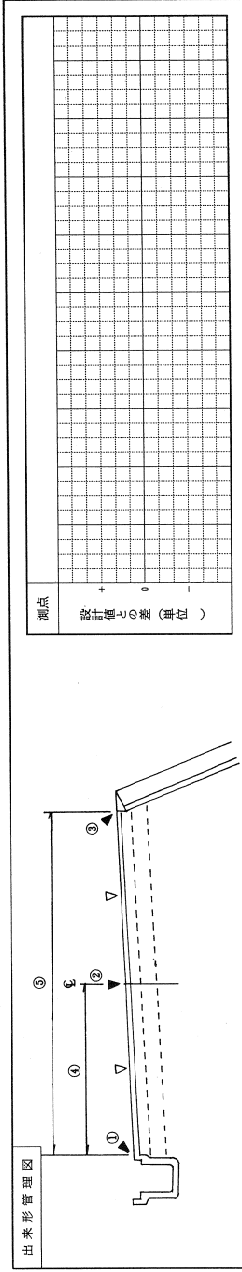


管理位置 規格値	①		②		③ (継ぎ端)		④		⑤	
	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差
測点又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分
規格値	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差

備考 1) 路床工、下層路盤工、上層路盤工、表層工の基準高管理については、準測員が5.5m以内であれば3点、6.5mは5点管理とする。
 2) 管理位置欄は字句又は番号のどちらでもよい。
 3) 管理位置が多い場合、x管理図は色わけ等で表示する。

管理種別
表層工
管理特性
基準高、幅員

測定者



管理位置 規格値	①		②		③ (継ぎ端)		④		⑤	
	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差
測点又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分	測点	又は区分
規格値	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差	設計値	測定値との差

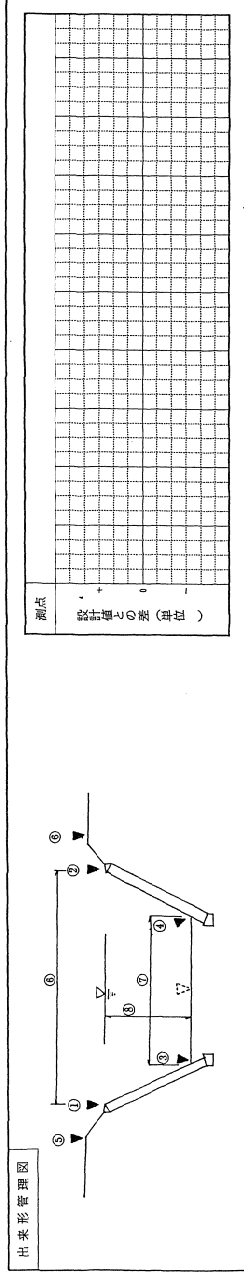
備考 1) 路床工、下層路盤工、上層路盤工、表層工の基準高管理については、準測員が5.5m以内であれば3点、6.5mは5点管理とする。
 2) 管理位置欄は字句又は番号のどちらでもよい。
 3) 管理位置が多い場合、x管理図は色わけ等で表示する。

様式-7

記載例 出来形管理図表

管理種別 護岸工
管理特性 基準高

測定者



【改訂前】

管理位置 規格値	①		②		③		④		⑤	
	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値
測点 設計値との差 又は区分										
規格値										
管理位置 規格値										

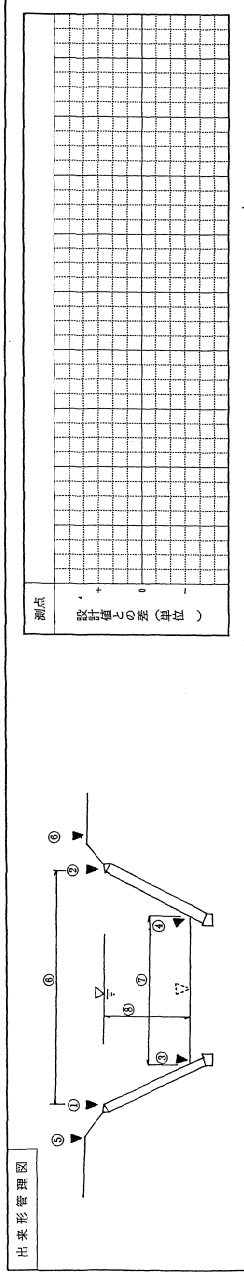
備考 河床の基準高管理は河床幅が10m以内であれば左右法の既の2点、10m以上は3点管理とする。

様式-7

記載例 出来形管理図表

管理種別 護岸工
管理特性 基準高

測定者



【改訂後】

管理位置 規格値	①		②		③		④		⑤	
	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値
測点 設計値との差 又は区分										
規格値										
管理位置 規格値										

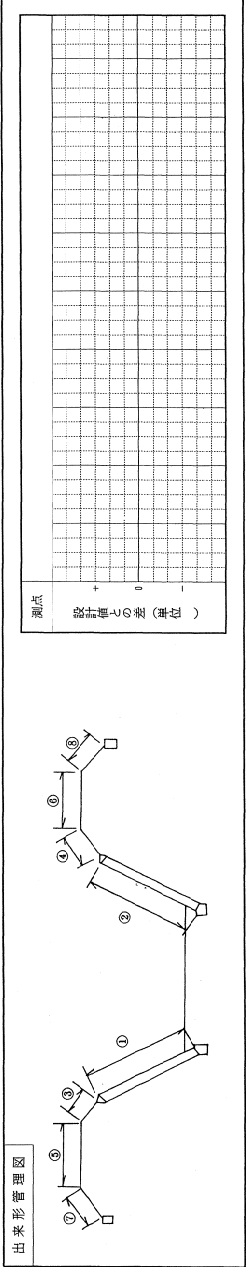
備考 河床の基準高管理は河床幅が10m以内であれば左右法の既の2点、10m以上は3点管理とする。

様式-7

記載例 出来形管理図表

管理種別 築堤工 (断面図でも可)
 管理特性 法長、管理距離

測定者



①			②			③			④			⑤		
管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値
測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差	

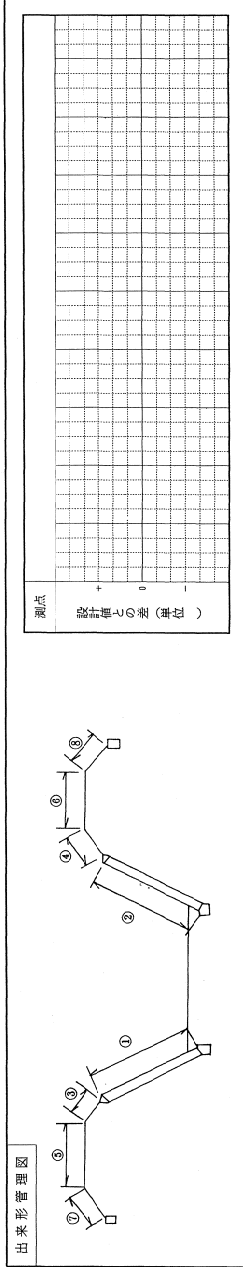
【改訂後】

様式-7

記載例 出来形管理図表

管理種別 築堤工 (断面図でも可)
 管理特性 法長、管理距離

測定者



①			②			③			④			⑤		
管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値	管理位置 規格値	設計値	測定値
測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差		測点 又は区分	設計値との差	

【改訂前】

＜新設＞

様式-7
【九州統一様式(様式-31)】
 出来形管理図表

※大分県様式の「様式-7」として使用可能

工種
 種別

測点	測定項目				測定項目				測定項目				略	図	
	規格値	設計値	実測値	差	規格値	設計値	実測値	差	規格値	設計値	実測値	差			
設計値との差															
0															
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
一夕数															
標準偏差															

【改訂前】

様式-8

塗装膜厚測定表

工事名	○○橋梁工事	工種名	桁塗装	現場代理人	○○ ○○				
ロット番号	No. 123	請負会社名	○○建設(株)	監理技術者	□□ □□				
塗装系	◆○○○◆		基準膜厚合計値	主任技術者	△△ △△				
測定時点	<input checked="" type="checkbox"/> 工畢塗装終了後 <input type="checkbox"/> 現場塗装開始前 <input type="checkbox"/> 現場塗装終了後		μ	施工管理担当者	■ ■ ■ ■				
測定月日	平成○○年○○月○○日		測定者	○○ ○○					
測定位置									
	1	2	3	4	5	計	平均 \bar{X}_i	$\bar{X}-\bar{X}_i$	$(X-\bar{X}_i)^2$
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
合計									
	平均値 \bar{X} =					標準偏差 S=			

平均値	$\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^n X_i$	
標準偏差	$S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^n (\bar{X}-X_i)^2} =$	

【改訂後】

様式-8

塗装膜厚測定表

工事名	○○橋梁工事	工種名	桁塗装	現場代理人	○○ ○○				
ロット番号	No. 123	請負会社名	○○建設(株)	監理技術者	□□ □□				
塗装系	◆○○○◆		基準膜厚合計値	主任技術者	△△ △△				
測定時点	<input checked="" type="checkbox"/> 工畢塗装終了後 <input type="checkbox"/> 現場塗装開始前 <input type="checkbox"/> 現場塗装終了後		μ	施工管理担当者	■ ■ ■ ■				
測定月日	平成○○年○○月○○日		測定者	○○ ○○					
測定位置									
	1	2	3	4	5	計	平均 \bar{X}_i	$\bar{X}-\bar{X}_i$	$(X-\bar{X}_i)^2$
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
合計									
	平均値 \bar{X} =					標準偏差 S=			

平均値	$\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^n X_i$	
標準偏差	$S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^n (\bar{X}-X_i)^2} =$	